

# 営繕事業の事業評価(事後評価)

とくやまかいじょうほあんぶ  
徳山海上保安部



平成17年12月 中国地方整備局営繕部

# 対象施設の概要

第六管区海上保安本部

徳山海上保安部（官庁営繕費）

事業期間：平成13年度～平成15年度  
完成 平成15年5月20日

やまぐちけん しゅうなんし なちちょう

所在地：山口県周南市那智町3 - 1

敷地面積：3,676 m<sup>2</sup>

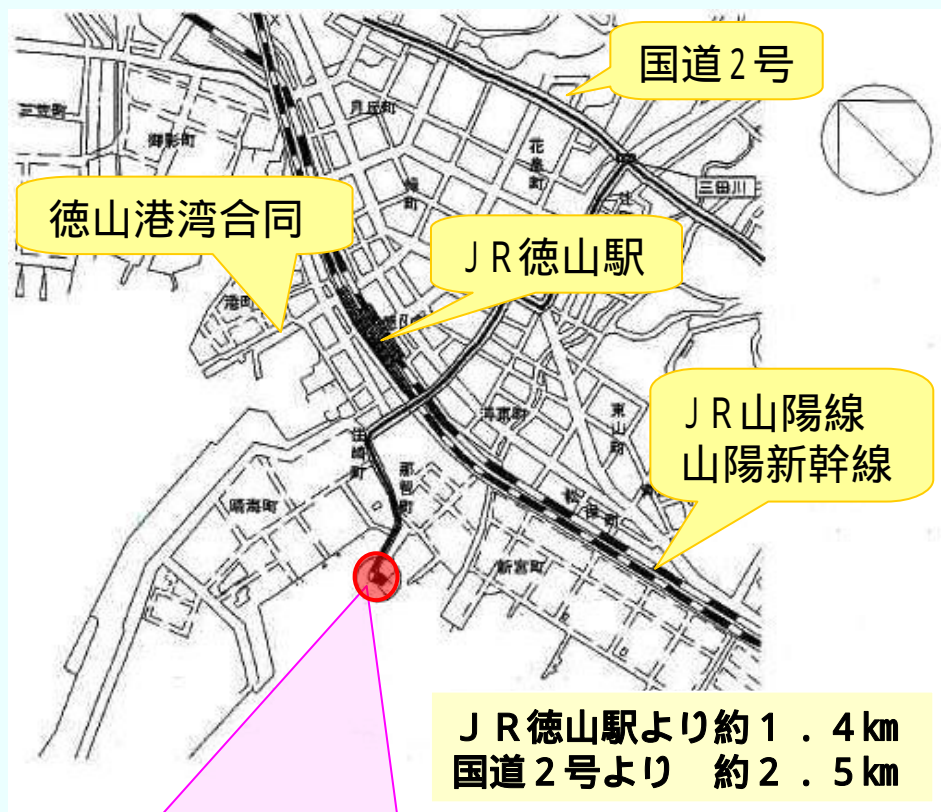
構造：鉄筋コンクリート造3階建て

規模：2,633 m<sup>2</sup>

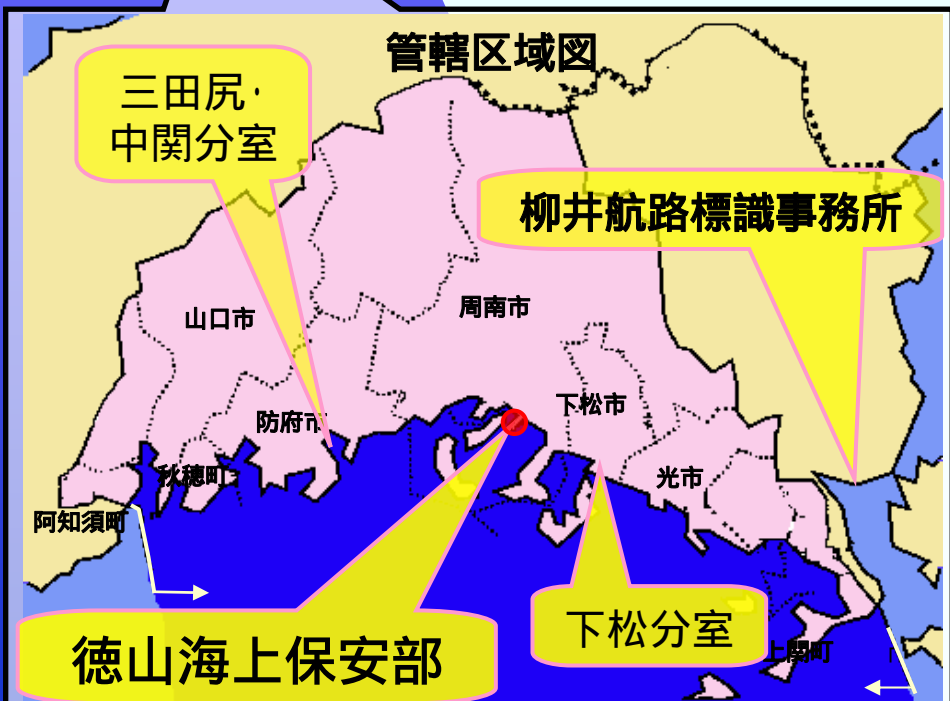
総事業費：約9億5千万円

職員総数：79名（船艇職員を含む）

# 施設の位置



JR徳山駅より約1.4 km  
国道2号より 約2.5 km



管轄区域：山口市（旧阿知須町）から上関町までの海域  
防府市と下松市に分室  
柳井航路標識事務所は平成14年4月1日に統合



# 事後評価方法

## 事業の妥当性

- \* 事業の緊急性
- \* 計画の妥当性

## 事業の効果の発現状況

- \* 定量的評価  
費用対効果 ( B / C ) の確認
- \* 定性的評価

利用者・職員アンケート

事業実施による環境の変化

社会経済情勢の変化

- \* 各種状況の変化 等

## \* 事業の緊急性

- ・ 本庁舎 昭和39年建設
- ・ 第2庁舎 平成5年建設(平成6年移設)  
仮設プレハブ
- ・ 老朽 現存率 59%
- ・ 狭あい 面積率 0.68
- ・ 統廃合 柳井航路標識事務所の一部を統合
- ・ 分散 敷地内に施設が散在し、執務に支障がある

## \* 計画の妥当性

- ・ 用地取得の見込み 現地建て替え
- ・ アクセスの確保 //
- ( 棧橋を含め整備済み)
- ・ 合同庁舎計画  
対象官署が無く、単独での整備



# 敷地状況(旧)

第2庁舎(仮設プレハブ)

本庁舎

自衛隊敷地

灯器調整室(充電室)

地下タンク

防災資機材庫

車庫

石積み突堤  
(保安部施設)

1号浮棧橋

3号浮棧橋

2号浮棧橋

川西突堤

- \* 老朽(本庁舎現存率59)  
築30年以上の建物6棟
- \* 狭あい(面積率0.68)
- \* 施設の不備(敷地内分散)
- \* 統廃合(航路標識事務所)

# 旧庁舎写真

敷地：約3,676m<sup>2</sup>

計画理由：

老朽

狭あい

施設の不備 など



本庁舎：RC - 2  
749m<sup>2</sup>

第2庁舎：S - 2  
394m<sup>2</sup>



旧庁舎(平成12年撮影)

# 配置図（新・旧）

港湾道路

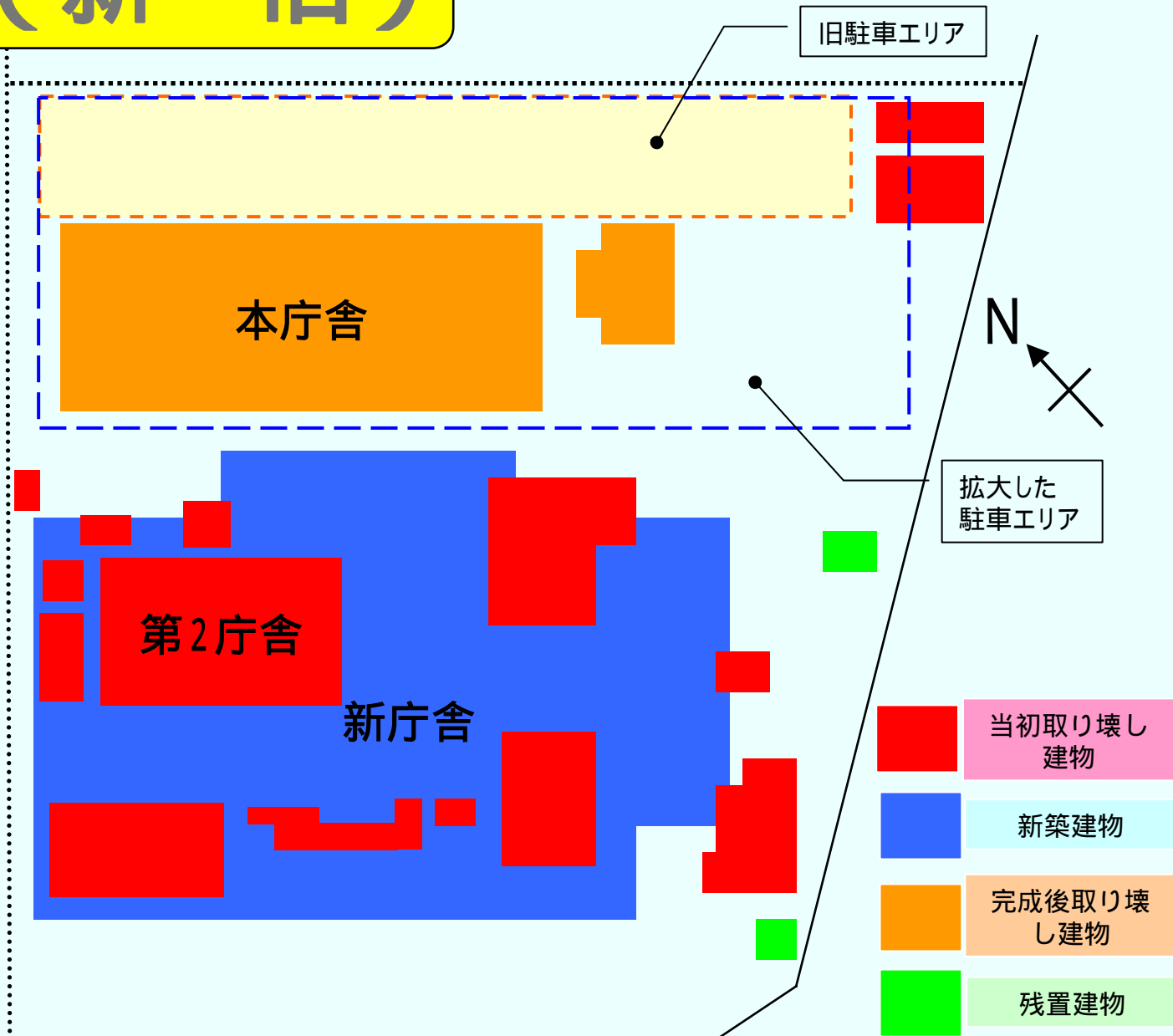
## 建設スケジュール

- ・ 仮庁舎建設(敷地外)
- ・ 一部建物取り壊し
- ・ 新営建物建設
- ・ 残置建物取り壊し
- ・ 外構整備

## 計画のポイント

- ・ 庁舎を集約し、敷地を有効利用
- ・ 動線の効率化
- ・ 駐車台数の増加  
24台 → 39台

瀬戸内海





# 新庁舎写真

敷地：現地建て替え

庁舎：RC - 3

2,633m<sup>2</sup>

目的：防災拠点施設としての  
機能確保 他



耐震設計区分 - A - 甲

耐震安全性

- ・構造強度の割り増し(1.25)
  - ・非構造部材の変形追従性の向上
- ライフラインの確保
- ・発電設備(全負荷の約2割)
  - ・給水設備(活動に必要な水量)

新庁舎(平成15年撮影)



# 各種施策への対応

## 環境配慮型庁舎

- ・ 高効率形照明器具
- ・ 照度センサーによる  
昼光利用・初期照度補正制御
- ・ E Mケーブル等エコ製品の採用
- ・ O Aフロアーによるフレキシブル空間

## 人に優しい庁舎

- ・ エレベータの設置
  - ・ スロープ、誘導ブロックの設置
- 等ハートビル対策



玄関ホール



玄関前スロープ

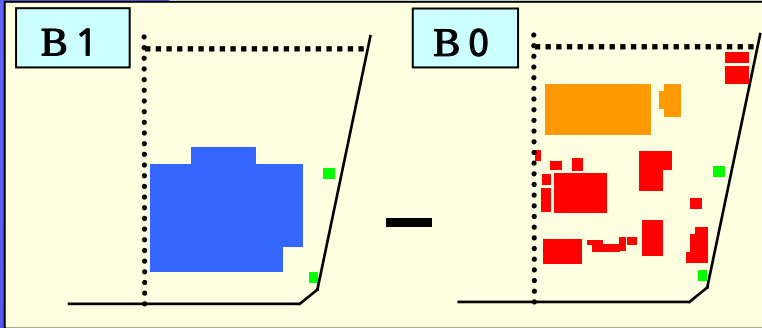


2階事務室

# 費用対効果の算定手法

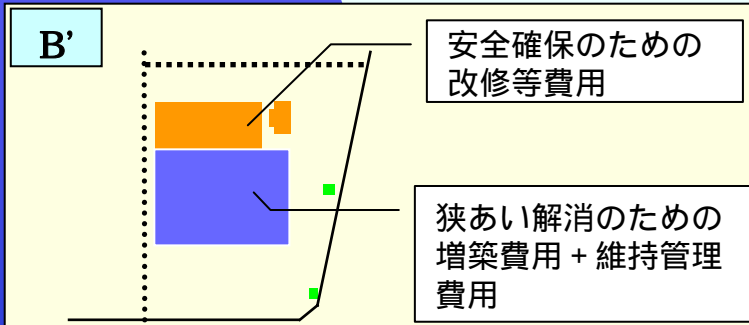
■ 費用対効果  $B / C = \frac{B' + (B1 - B0)}{C1 - C0}$

効果  
B



$B1 - B0$

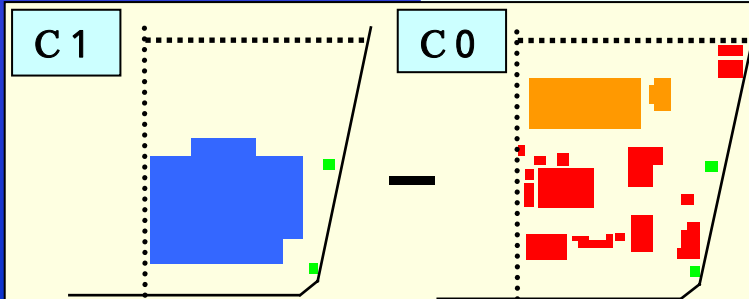
- 施設の有効利用 (航路標識事務所の転用効果)
- 利用者の利便 (統合による効果)
- 環境への配慮 (エネルギー消費の削減等)
- その他の効果 (駐車場等の改善)
- 金額換算の難しいものはアンケートにより効果を把握



B (代替効果)

- 事業実施によって向上する性能水準と同等の水準を実現するために必要となる費用を効果と見なす
- 狭あいを解消するための増築費用および維持管理費用
- 既存庁舎の安全確保 (事故・災害の縮小) のための耐震、防災改修に要する費用

費用  
C



C1 (事業実施結果)

- 初期費用 (建設費、企画・設計関係費、解体費)
- 維持修繕費 (修繕費、保全費、水道光熱費)

C0 (事業を実施しなかった場合必要な費用)

- 既存庁舎を継続利用した場合の維持修繕費

# 費用対効果

(単位:百万円)

## 効果 ( B )

利用者の 利便	駐車場等改善	115
	建物性能の 向上	1,076
	庁舎統合に よる効果	84
安全の確 保	事故・災害 の縮小	66
環境への 配慮	地球環境保 全への寄与	3
施設の有 効利用	旧施設の利 用効果	9

代替  
効果

B

=1,142

総効果 ( B ) 計

1,353

/

## 費用 ( C )

### 費用 ( C 1 )

初期 費用	建設費	971	1,081
	企画・ 設計費	35	
	解体費	75	
維持 修繕 費	修繕費	215	462
	保全費	178	
	光熱費	69	
計		1,543	-

### 費用 ( C 0 )

旧 庁 舎	修繕費	208
	保全費	21
	光熱費	73
計		302

C 1 - C 0

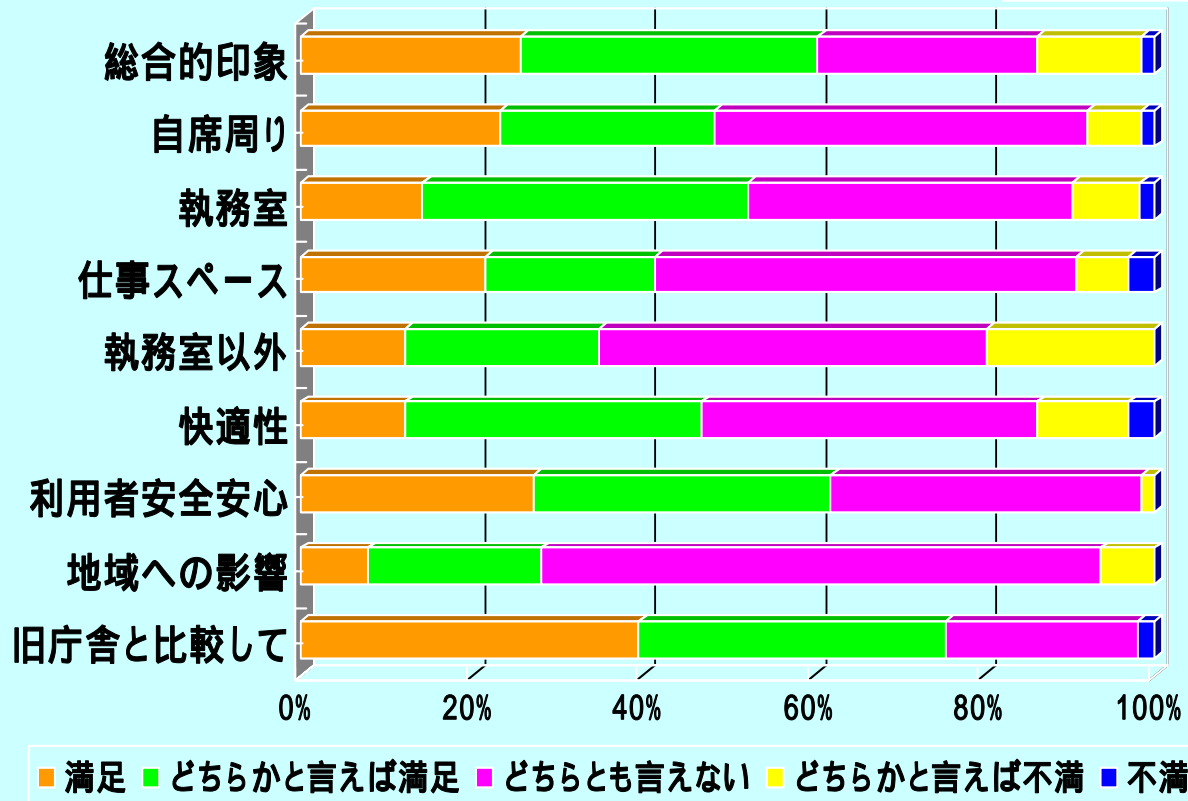
1,241

費用対効果 ( B / ( C 1 - C 0 ) )

1 . 0 9

# アンケート結果 (職員)

配付：74  
回収：66



## 職員

全般的に満足、どちらかと言えば満足(満足率)に対し、不満、どちらかと言えば不満(不満足率)が少なく、概ね良好な結果が得られた

・旧庁舎との比較では、80%近くが利用しやすくなったとの回答を得た

・居心地よい、外観印象・雰囲気等感覚的な設問では、約60%の満足率

・席の広さ、待合い、収納、駐車・駐輪場等では、約40%の満足率

・喫煙・分煙について不満足率が約40%を占めた

## 各設問に対する個別記入意見

・明るく、きれいで開放的

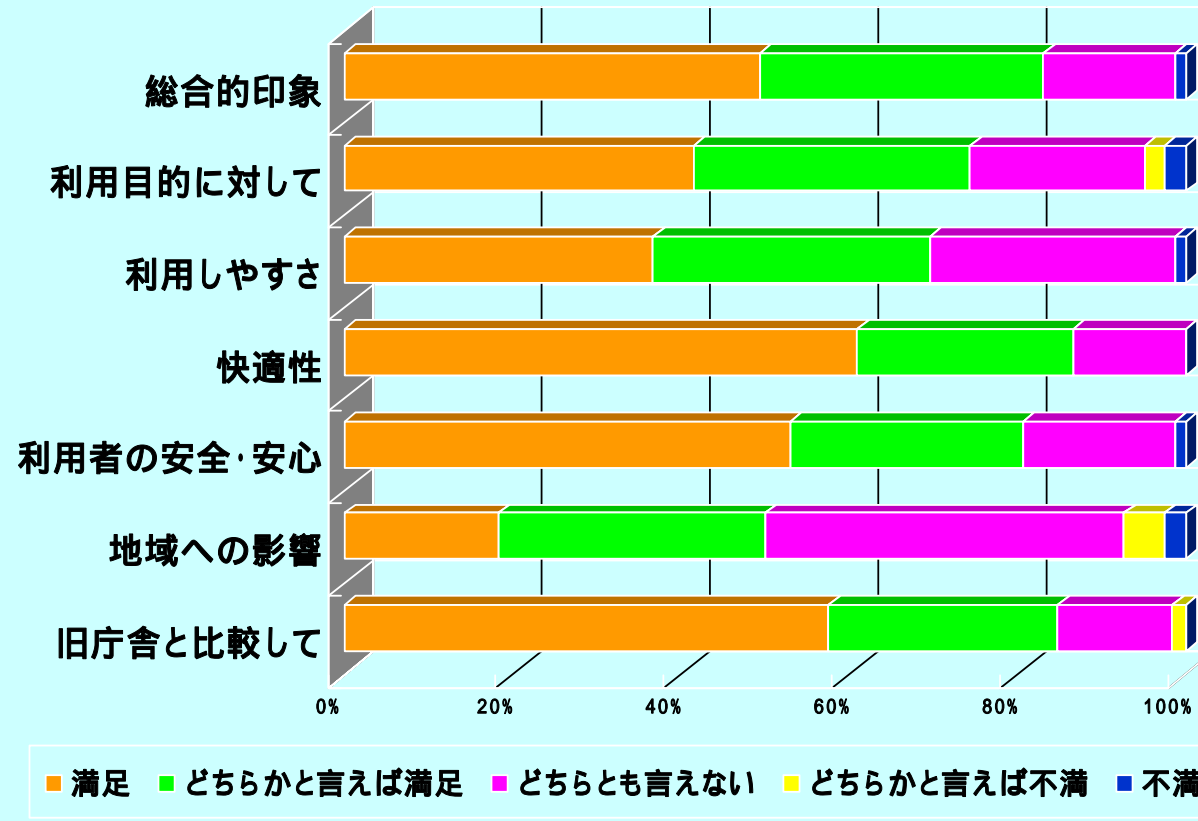
・待合い、駐車・駐輪場が不足

・トイレの換気、暖冷房の効きの悪さ



# アンケート結果 (利用者)

配付：120  
回収：85



## 利用者

全般的に満足率の高い結果が得られ、施設整備効果が見て取れる

・総合的印象、施設の快適性、利用者の安全・安心、旧庁舎との比較では満足率がほぼ80%

・地域に対しての設問でも、「よい影響を与えている」「どちらかと言えば」を含め50%

・その他窓口、待合いおよび駐車場に関して聞いた利用のしやすさで満足率が低くなっているが、60%を越えている

## 各設問に対する個別記入意見

・広い、きれい清潔感がある等多数

・待合いスペースが狭い

・駐車場出入り口の見通しが悪い

・1階が無人のため行き先が分かりづらい、玄関が寂しい

# 評価の内容

## 事業の効果：

- 利用者の利便性効果
  - ・ 執務室の狭あい解消による手続き事務の改善
  - ・ 規模の改善(駐車台数)業務効率
  - ・ 狭あい解消による事務効率の向上
- 既存庁舎の改修・増築等による整備より、経済性及び利便性の観点で合理的であると判断される。
  - ・ 費用対効果  $B / C = 1.09$
- 完成後の利用者・職員の利便性は、アンケート調査の結果概ね良好である。

## 事業実施による環境の変化：

本事業による環境への影響は少ない。

## 社会経済情勢の変化：

現在地は位置として問題なく、敷地の規模としても適当な広さであるため、現地建て替えとして計画した。

また、海上保安部の機構改革として、業務内容の変更(航路標識事務所の統合)に対応した施設とした。

## 今後の事後評価の必要性：

の評価から所期の効果が確認でき、再度の評価は必要ないと考えている。

## 改善措置の必要性：

の評価から所期の効果が確認でき、改善措置の必要性はないと考えている。